

子どもたちへの意見聴取の結果概要

意見聴取の趣旨

- 次期計画は2035年度を見据え、本市が重点的に取り組むべき方向性を示す計画であるため、検討にあたり将来を担う世代の意見は重要である。
- しかし、市民意識調査など本市における既存の市民の意見を聴く仕組みは主に18歳以上を対象としており、18歳未満の市民の意見を聴く機会は少ない。
- また、国全体で少子化が進むなど子どもをめぐる様々な問題が深刻化する中、2023年に子ども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進するための包括的な基本法として「こども基本法」が施行され、年齢や発達の程度に応じたこども（心身の発達の過程にある者をいい、若者を含む）の意見表明機会の確保などが基本理念として掲げられている。
- これらのことを踏まえ、計画が見据える2035年度において、20歳代となっている市内の小学校高学年、中学生、高校生に対して意見聴取を行った。
- 意見聴取は子どもがリラックスして意見が言えること、普段は自ら意見を言わないサイレントマジョリティの声を聴くことを重視し、学校の授業を活用して実施した。
- なお、子どもたちの意見は現在、学生生活を送っている世代特有の価値観などが反映されていることに留意した上で、計画検討にあたっての参考とする。

意見聴取の方法

○ 現在の堺市への評価や未来へ期待することについて、以下のとおりワークショップ形式で意見聴取を行った。

■ワークショップの開催概要

内容	市内の学校に職員が訪問し、以下の設問について、子どもたちが考え、グループごとに発表し、職員と意見交換を行った。 ・堺の好きなところはどんなところか ・堺の残念なところはどんなところか ・2035年の未来の堺はどんな都市であってほしいか
実施時期	2024年3月～10月
実施校	市立深阪小学校（5年生） / 市立少林寺小学校（6年生） / 市立登美丘東小学校（6年生） / 市立日置荘中学校（2年生） / 市立津久野中学校（3年生） / 市立旭中学校（3年生） / 府立泉北高校（1・2年生） / 市立堺高校（3年生）
参加者数	651名

※実施校は小学校、中学校の校長会を通じて募集を行ったほか、さかいSDGs推進プラットフォーム等の会員である学校に対して案内し、希望の申し出があった学校。上記の共通設問の答えのほか、一部内容を変更して実施した学校がある。



市立深阪小学校



市立少林寺小学校



市立登美丘東小学校



市立日置荘中学校



市立津久野中学校



市立旭中学校



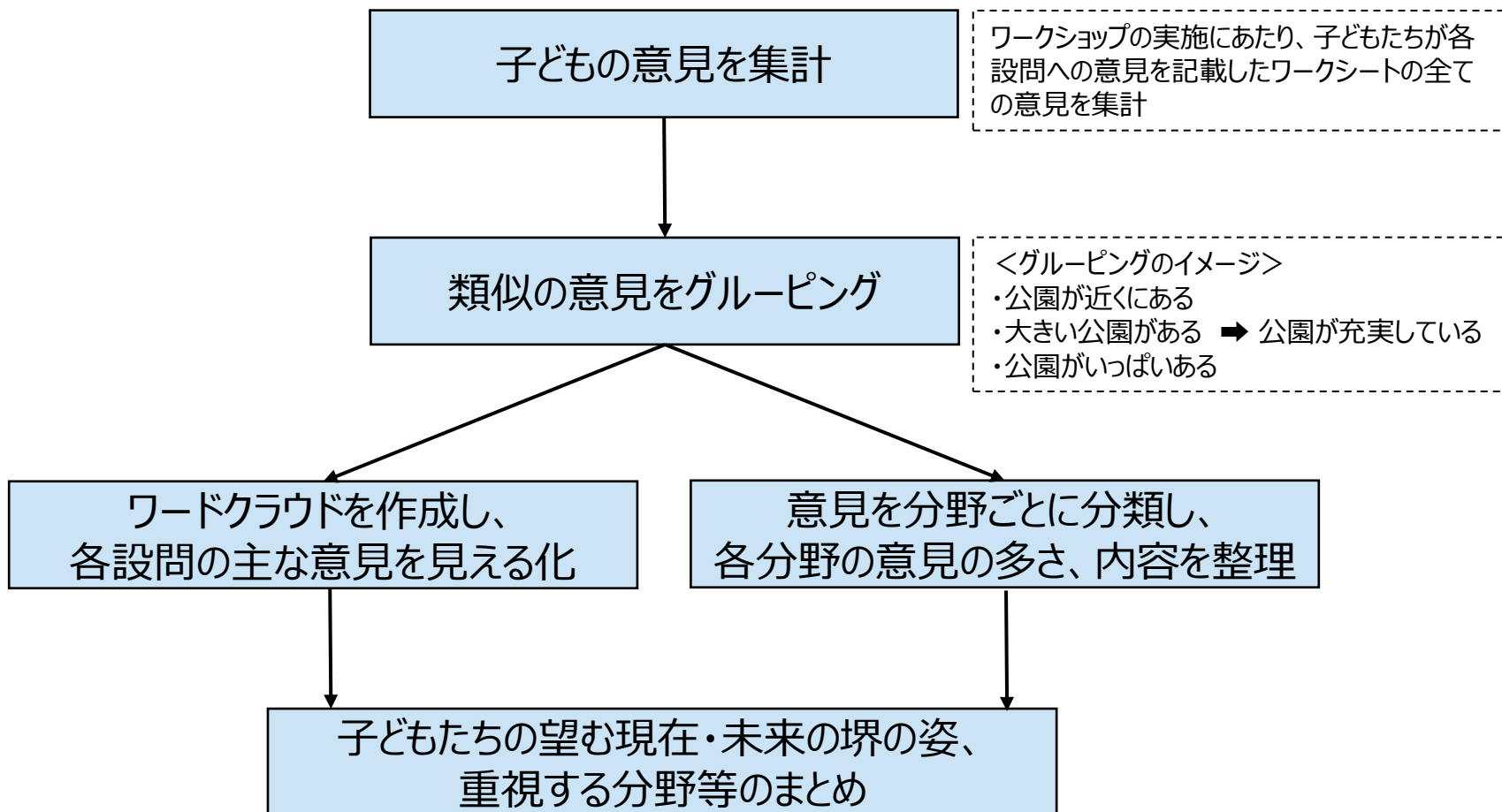
府立泉北高校

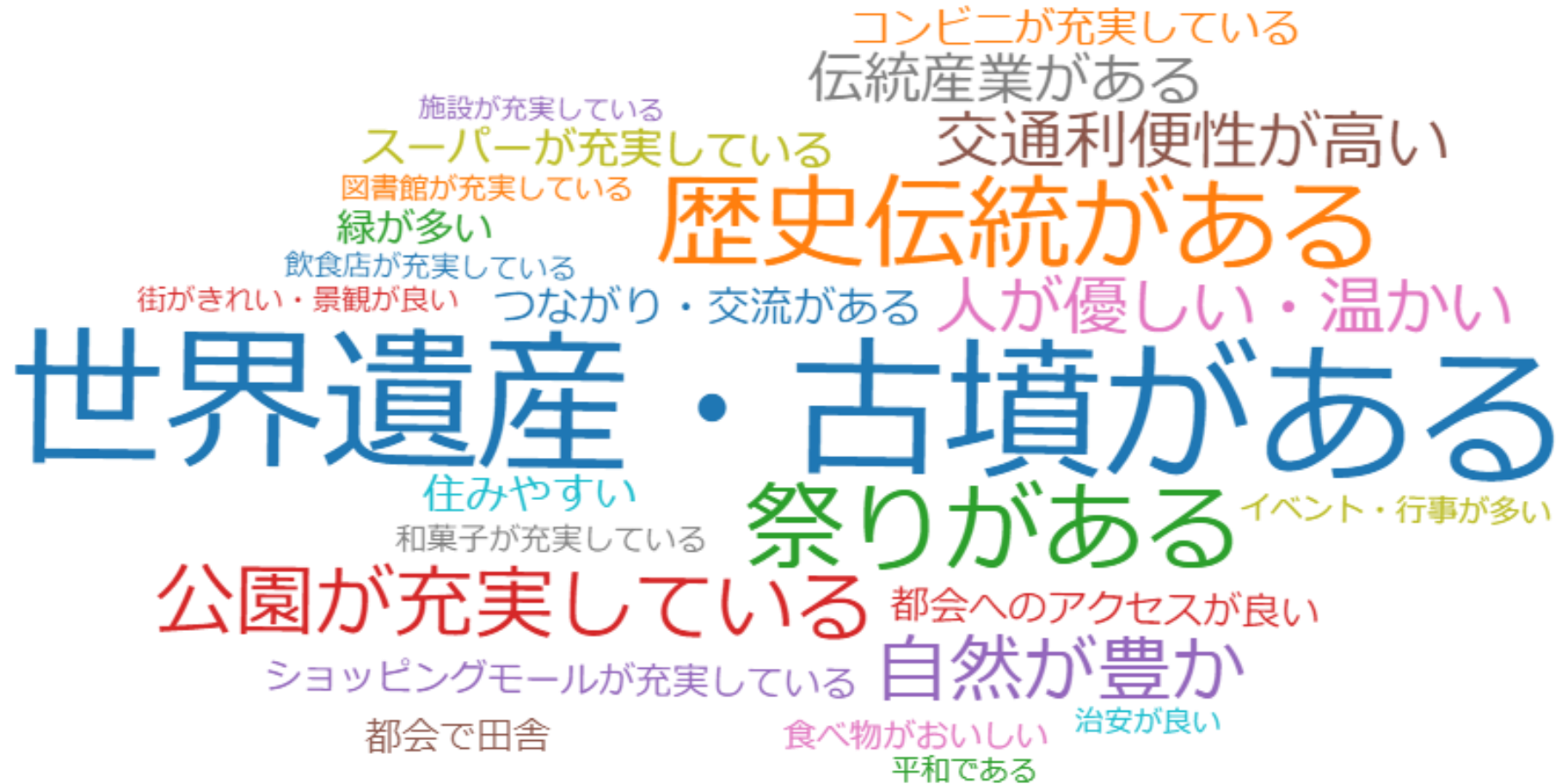


市立堺高校

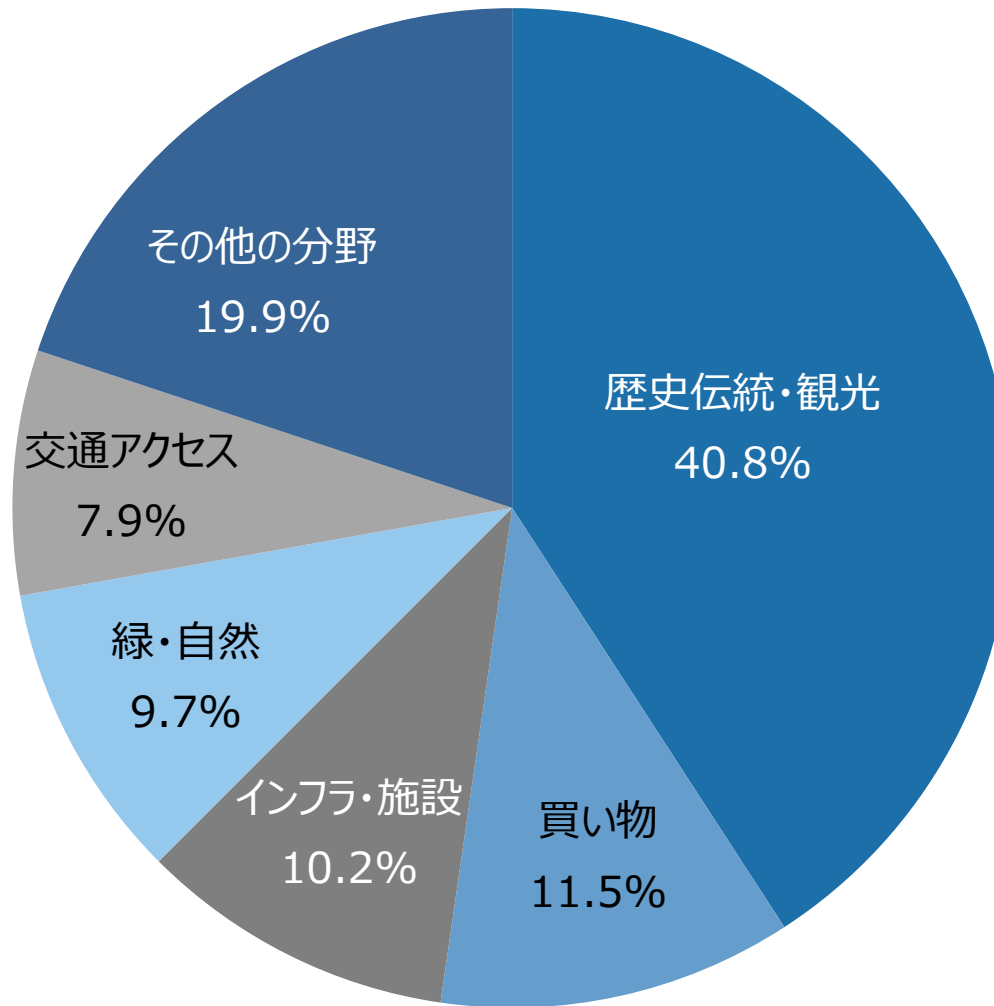
意見の集計・整理の手順

- 意見をもとに、子どもたちの望んでいる現在・未来の堺の姿、重視する分野を考察するため、「堺の好きなところ」「堺の残念なところ」「2035年の堺がどうあってほしいか」の各設問について、以下の手順で集計・整理した。





「好きなところ」の意見が多い分野



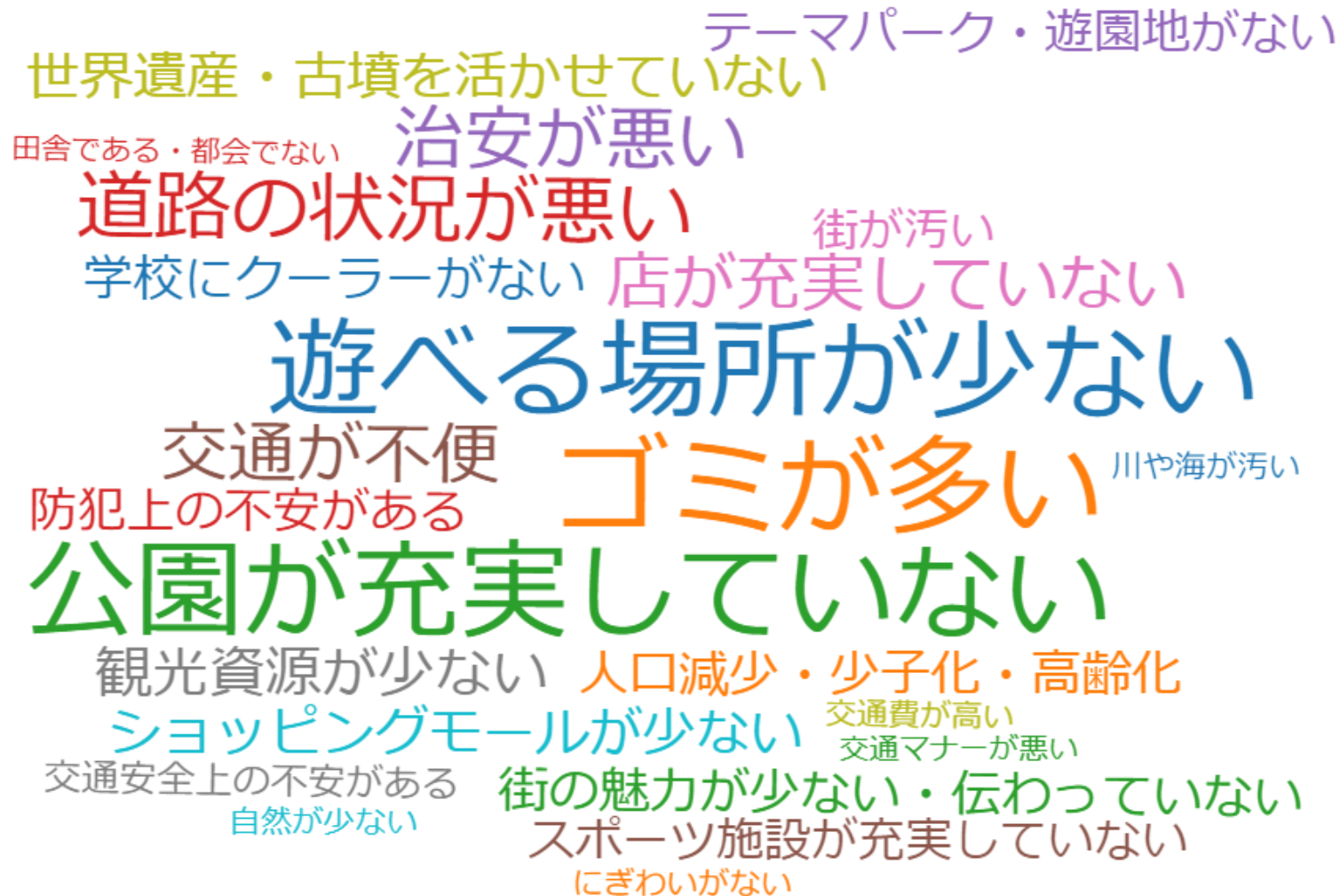
※特定の分野に当てはまらない意見（住みやすい等）は除く。

意見が多い分野の主な意見

分野	各分野の主な意見
歴史伝統・観光 (392件)	世界遺産・古墳がある（153件） / 歴史伝統がある（96件） / 祭りがある（91件）
買い物 (110件)	店が充実している（34件） / スーパーが充実している（29件） / コンビニが充実している（26件）
インフラ・施設 (98件)	公園が充実している（70件） / 図書館が充実している（13件） / 施設が充実している（11件）
緑・自然 (93件)	自然が豊か（62件） / 緑が多い（24件） / 水や空気がきれい（7件）
交通アクセス (76件)	交通利便性が高い（53件） / 都会へのアクセスが良い（23件）

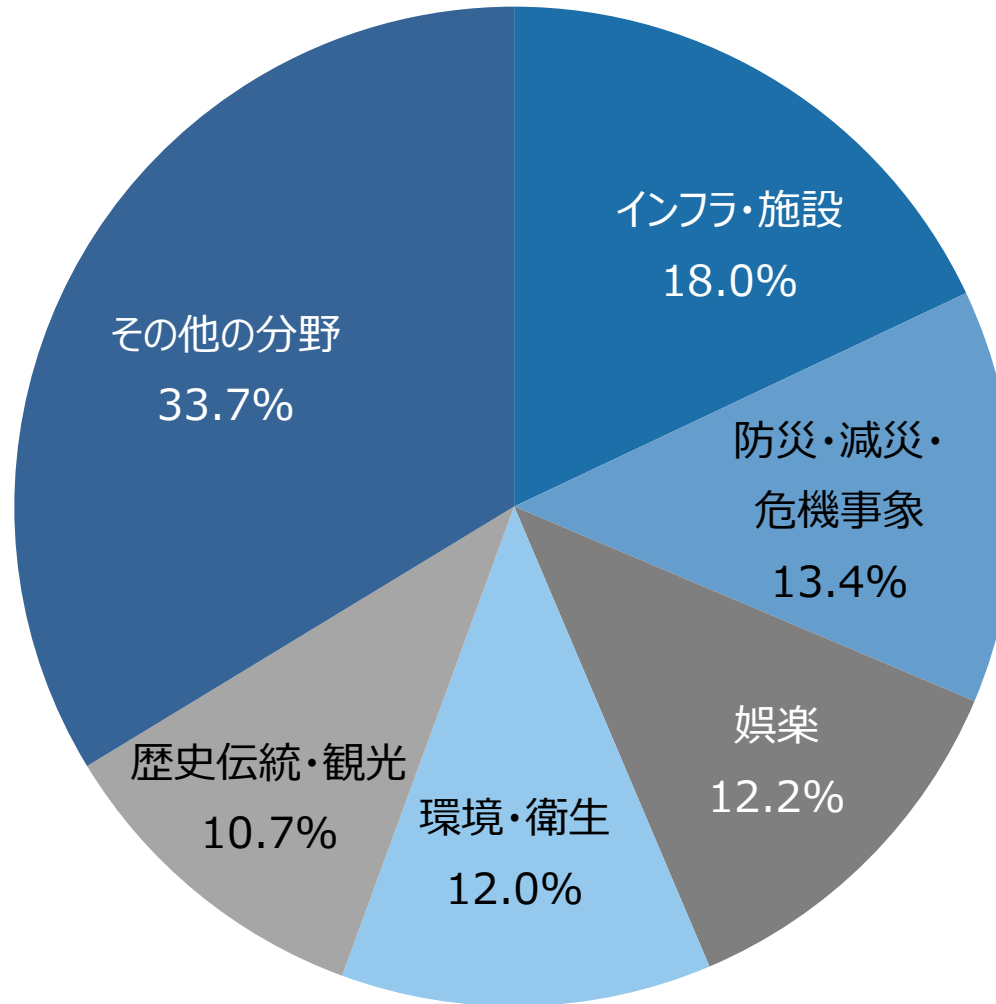
※各分野の主な意見は分野内の上位3位までの意見。

堺の残念なところ（主な意見）



※意見数が10以下の内容を除く。

「残念なところ」の意見が多い分野



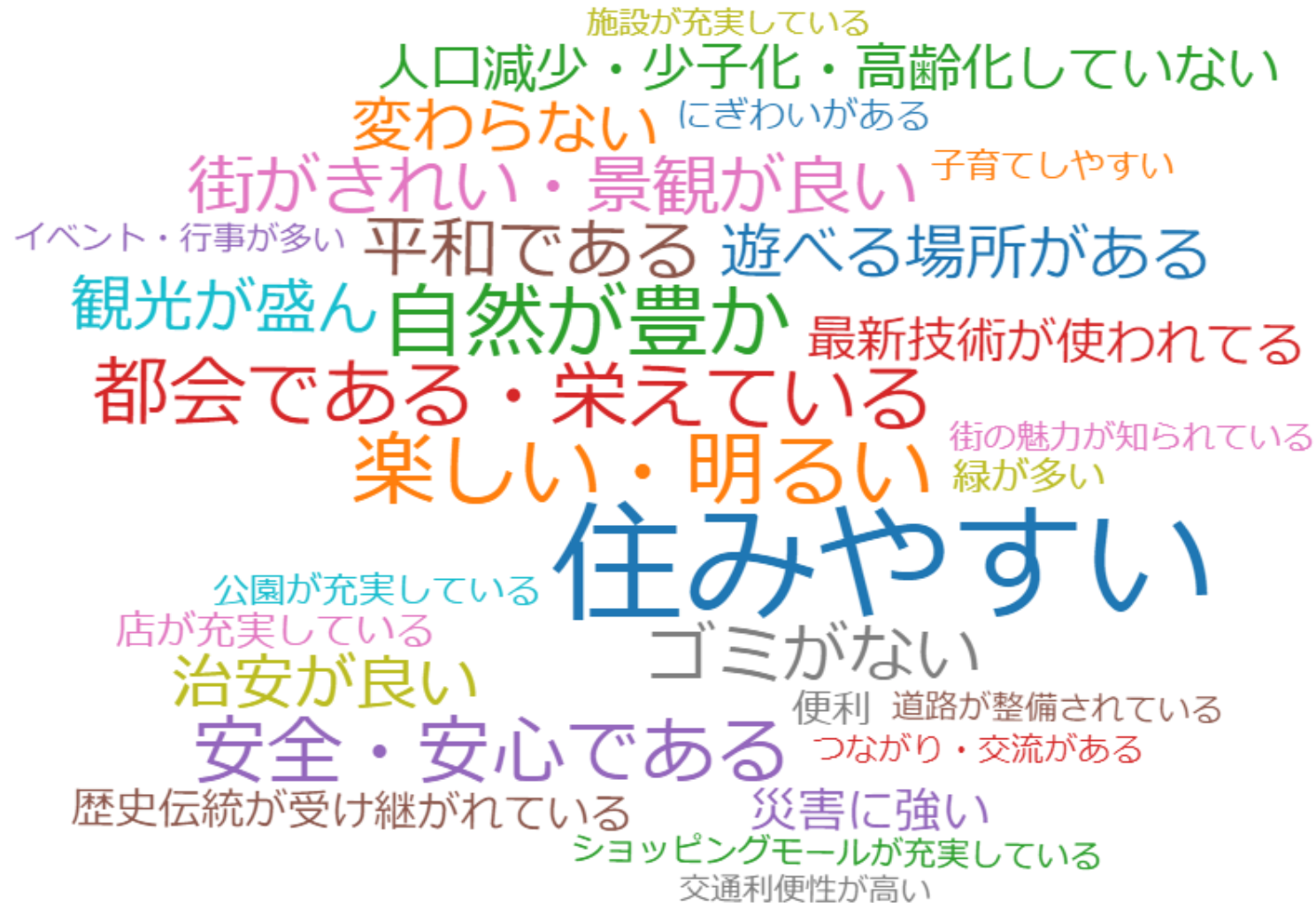
※特定の分野に当てはまらない意見（田舎である等）は除く。

意見が多い分野の主な意見

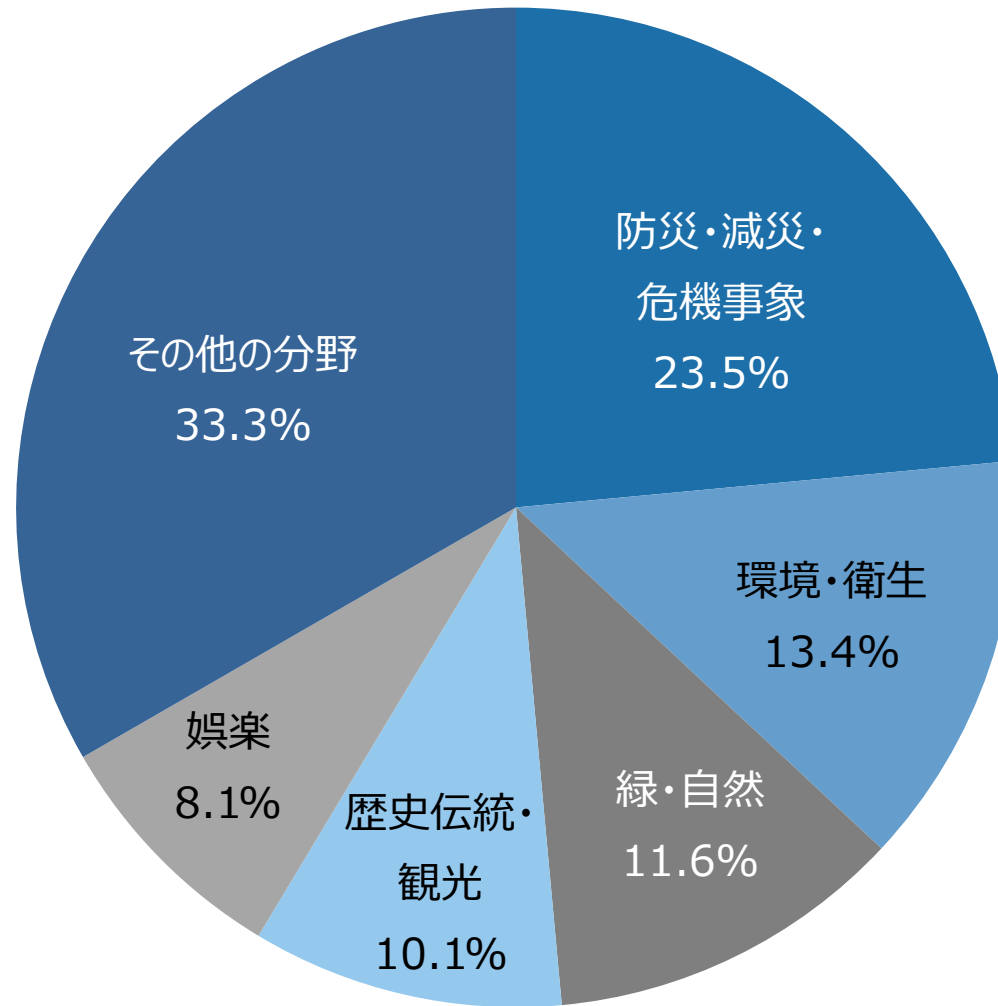
分野	各分野の主な意見
インフラ・施設 (141件)	公園が充実していない（62件） / 道路の状況が悪い（42件） / スポーツ施設が充実していない（22件）
防災・減災・ 危機事象 (105件)	治安が悪い（38件） / 防犯上の不安がある（23件） / 交通安全上の不安がある（16件）
娯楽 (96件)	遊べる場所が少ない（63件） / テーマパーク・遊園地がない（23件） / 映画館が少ない（6件）
環境・衛生 (94件)	ゴミが多い（62件） / 街が汚い（21件） / 騒音がある（3件）
歴史伝統・観光 (84件)	観光資源が少ない（28件） / 世界遺産・古墳を活かせていない（26件） / 観光客が少ない（7件）

※各分野の主な意見は分野内の上位3位までの意見。

2035年の堺はどんな都市であってほしいか（主な意見）



2035年の堺について意見が多い分野



※特定の分野に当てはまらない意見（住みやすい等）は除く。

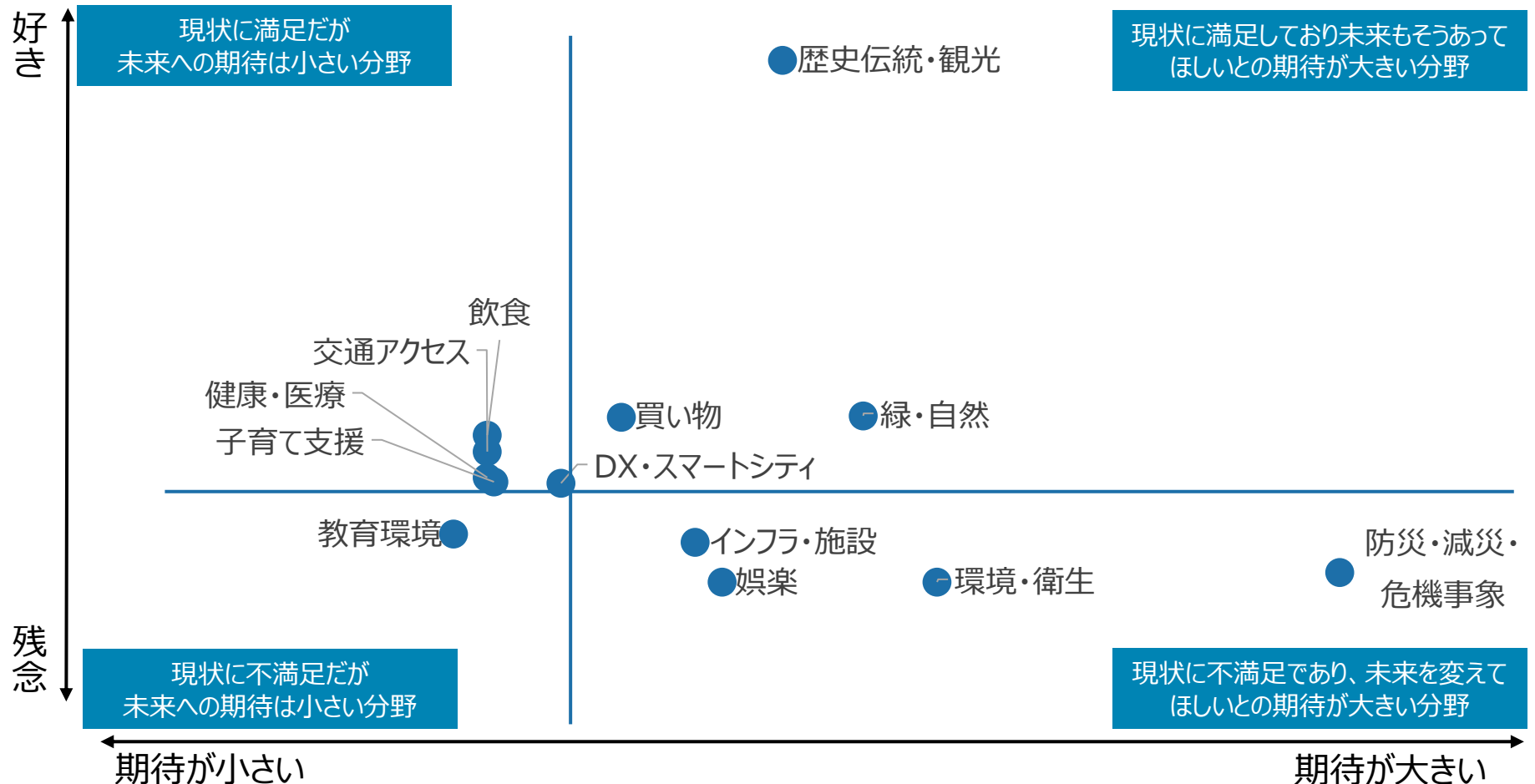
意見が多い分野の主な意見

分野	各分野の主な意見
防災・減災・ 危機事象 (140件)	安全・安心である（40件） / 平和である（36件） / 治安が良い（31件）
環境・衛生 (80件)	街がきれい・景観が良い（35件） / ゴミがない（35件） / 環境意識が高い（10件）
緑・自然 (69件)	自然が豊か（44件） / 緑が多い（16件） / 水や空気がきれい（5件）
歴史伝統・観光 (67件)	観光が盛ん（31件） / 歴史伝統が受け継がれている（19件） / 祭りがある（7件）
娯楽 (48件)	遊べる場所がある（31件） / イベント・行事が多い（12件） / テーマパーク・遊園地がある（3件）

※各分野の主な意見は分野内の上位3位までの意見。

意見と分野の関係

2035年の堺がどうあってほしいかの問いに対する「意見の多さ（少なさ）」＝「期待の大きさ（小ささ）」として、「好きなところ」「残念なところ」とのマトリックスで各分野を整理した。**現在は相対的に「残念」と感じ、未来への「期待が大きい」分野は、子どもが未来に向けて現状変更を求めている分野であり、特に重視する分野**と考える。



※上の図の各分野の「好き」「残念」の配置は「好きなところの意見数」－「残念なところの意見数」、期待の大小の配置は各分野の意見の多さの平均値との比較。
 ※上の図では「好きなところ」「残念なところ」「2035年の堺はどんな都市であってほしいか」のどの設問に対しても意見数が10以下であった分野は除外。

- 堺の好きなところは、「世界遺産・古墳がある」が最も多く、「歴史伝統がある」「祭りがある」「公園が充実している」「自然が豊か」などの意見も多い。分野ごとでは世界遺産・古墳があるなど「歴史伝統・観光」に関する意見が最も多く、次いで店が充実しているなど「買い物」、公園が充実しているなど「インフラ・施設」、自然が豊かなど「緑・自然」、交通利便性が高いなど「交通アクセス」に関する意見が多い。
- 一方で、堺の残念なところは「遊べる場所が少ない」「ゴミが多い」のほか、「公園が充実していない」などの意見も多く、「好きなところ」との意見の相違がある。分野ごとでは公園や道路の状況など「インフラ・施設」に関する意見が最も多く、次いで治安が悪いなど「防災・減災・危機事象」、遊べる場所が少ないなど「娯楽」、ゴミが多いなど「環境・衛生」、観光資源が少ないなど「歴史伝統・観光」に関する意見が多い。
- 2035年の堺はどんな都市であってほしいかは、「住みやすい」が最も多く、「楽しい・明るい」「自然が豊か」「安全・安心である」「都会である・栄えている」との意見も多い。分野ごとでは、安全・安心であるなど「防災・減災・危機事象」に関する意見が最も多く、次いで街がきれい・景観が良いなど「環境・衛生」、自然が豊かなど「緑・自然」、観光が盛んなど「歴史伝統・観光」、遊べる場所があるなど「娯楽」に関する意見が多い。
- これらの結果から、子どもたちが総じて望んでいると思われる現在・未来の堺の姿としては
 - ▶ 「住みやすい」都市であること。
 - ▶ 「歴史伝統」や「豊かな自然」が守られていること。
 - ▶ 「防災・減災・危機事象」「環境・衛生」「インフラ・施設」など都市の基盤となる部分が良好であること。
 - ▶ 「買い物」「娯楽」「観光」などが充実し、「楽しく・明るい」都市であること。
- 特に重視する分野は、現在は子どもたちが相対的に「残念」と感じており、未来を変えてほしいとの期待が大きい分野である「防災・減災・危機事象」「環境・衛生」「インフラ・施設」「娯楽」であるとする。